

平成20年4月25日

JARIP会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
栗山晃・福田敬・清水信広

JARIP 平成20年度第1回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（JARIP）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。平成20年度第1回研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、北野 信太郎氏（マーサー ジャパン社シニア・アクチュアリー、英国アクチュアリー会正会員）より、「英国の企業年金制度におけるバイアウトの役割・背景」のテーマでご講演をいただきます。

英国の企業年金制度を取り巻く現状、バイアウトが盛況を博する背景・役割について考える絶好の機会です。会員にとりまして非常に有益な示唆をいただけるものであります。

ご講演の後の質疑応答や意見交換を通じてさらに理解を深めていきたいと考えております。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第1回研究会

日時：平成20年（2008年）5月23日（金曜日） 2時から5時

場所：朝日生命大手町オフィス1階大会議室

（地下鉄大手町駅またはJR東京駅下車、徒歩5分）

（別紙 周辺地図をご参照下さい）

講師：北野 信太郎氏

（講師略歴をご参照ください）

講演題目：「英国の企業年金制度におけるバイアウトの役割・背景」

講演の要旨：

パーフェクト・ストームなどの運用環境の悪化や、即時認識を基とした会計基準の変更などを背景として、英国でも企業年金制度を廃止する企業が多く現れた。そのような閉鎖年金制度の受け皿として、21世紀に入ってから所謂「バイアウト」（年金債務を第三者へ完全移管する保険契約の一種）を行う制度が増え、更に市場の拡大に伴い、従来の生命保険会社以外のプレーヤーも新規参入を始めた。ひいては積立基準のターゲットとして、バイアウト評価の債務を採用する基金もあり、現在の英国の企業年金制度はバイアウト無しには

理解できないほど重要度が増している。本研究会では、英国の企業年金制度を取り巻く現状について説明し、パイアウトが盛況を博する背景・役割について考える。

2. 参加申込

参加希望者のお名前・所属組織名・Eメールアドレス・電話番号に加え、「5月23日の第1回研究会への参加申込」と明記の上、Eメールにて

To : office@jarip.org (日本保険・年金リスク学会事務局)

cc : kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp (同研究会担当：栗山晃)

迄お申込ください。参加申込は5月16日(金曜日)迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて1,000円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

以上

講師略歴：北野 信太郎氏 (シニア・アクチュアリー、英国アクチュアリー会正会員)

マーサー ジャパン社では、主に外資系企業の会計数理計算や年金制度設計プロジェクトでのヘッドクォーターとの折衝などの業務に従事。

マーサー ジャパン入社以前は、英国で大手年金数理コンサルティング会社において、元国有企業や米国系製薬・石油会社の年金基金などの担当を6年間勤め、主に年金ALM、会計計算、制度設計や積立に関するコンサルティング業務に携わる。

ロンドン大学インペリアル・カレッジ大学院数学専攻修了。